

このチラシは、桜木駐車場周辺地域に配布しています。

主催：さいたま市
運営協力：特定非営利活動法人
都市づくりNPOさいたま

このまちを「見る」「知る」「話す」

まちづくりカフェのご報告

桜木駐車場の周辺地域にお住まいの方を主な対象に、おなじまちに暮らす人が集まり、ゆるやかにちょっと話してみる、サロンのような場として、3回のまちづくりカフェを開催しました。

1月26日(土)

まちの“魅力”を見る撮る歩く

写真を撮りながら、桜木駐車場周辺地域を歩きました。国鉄時代の名残を感じる細い路地や、庭先に花やかわいい置物が沢山あるなど、さまざまな街の姿を見つけることができました。



2月23日(土)

まちの“居場所”を考える



グループでの対話を通して、居場所は人によって様々ということを見出し。緑あふれる公園の整備や、空きスペースを祭りなどのイベントに試験的に使うことなどのアイデアが出ました。

3月9日(土)

まちの“防災”を考える

ミニレクチャーの後、3.11の経験のシェアから対話をスタート。ブレーカー自動遮断機の全戸設置や消火器の配置、駆けつけ隊の組織など、地域での様々な取り組みの紹介、防災に関する心配や課題を出し合いました。



★裏面に詳細なご報告を掲載しています>>

3回のまちづくりカフェを通して、桜木駐車場周辺地域には、まだまだ知らない魅力があることや、地域のことを考え、地域のために日頃から奔走するみなさんがいらっしゃる事が、改めてわかりました。一方、日頃から誰でも気軽に使える場所が地域に少ないこと、道が細く消防車の進入が困難な場所が多いこと、などが課題としてあがりました。

今回いただいたご意見等は周辺のまちづくり等を検討する上での参考にさせていただくとともに、今後も対話の機会を設けて参ります。

お問い合わせ：さいたま市東日本交流拠点整備課
メール

TEL:048-646-3280 FAX:048-646-3292
higashinohon-kyoten-seibi@city.saitama.lg.jp

3月9日(土) まちづくりカフェ

まちの“防災”を考える

～ご報告～

report

《当日プログラム》

1. 開会・言葉の整理
2. ミニレクチャー
・防災まちづくり
3. グループ対話
・3.11 あなたは?
・災害で心配なこと
4. 発表・閉会



3.11 そのときあなたは？

[近隣にいた]

- 駐車場にいた。大きな揺れで、車も大きく揺れた。
- 車で移動中だった。車も大きく揺れ、道路脇の電柱がゆっさゆっさと大きく揺れていた。
- プラザノースで3才の娘と一緒に図書館にいた。幸い、怪我はなく、車で帰宅できた。
- 友人と赤ちゃん3人と共に自宅にいた。大きな揺れでタンスなども倒れたため、近所の商業店舗に一時避難した。



- 近所のスーパーにいた。大きな揺れが来たので、近くの什器に掴まっていた。周りでは、酒瓶などが棚から落ち、散乱していた。



[都内にいた]

- ビルの7階にいた。ビル同士がぶつかりそうなくらい揺れていた。弁当も水もない状態で電車が止まり、やむなく会社泊。翌朝、先に動いていた地下鉄で上野まで行き、自宅に帰り着いたのは夕方になってからだった。
- 会社にいたが、電車が全線不通のため、会社に一泊した。翌日、徐々に動き始めた電車で帰宅。ものすごい混雑だった。
- 当時は高校生。期末試験が終わり、カラオケ店の7階にいたところ、大きな揺れが来た。携帯電話を借りて家族に連絡後、10時間をかけて自宅まで歩いて戻った。

[その後]

- 直後の4月に、一部の校舎が全壊した栄小学校に子どもが入学。校舎の取り壊しから立て替えまで、数年に渡って影響があった。

災害発生時、どんな心配が？

[心配な点]

- 桜木三丁目は、延焼シミュレーションで危険な地域と判定されていた。火災のリスクが高い地域であると認識している。
- 防災訓練に若い人の参加が少ないことが心配。
- 当番は決めているが、災害発生時にどれだけの人が地域にいるか、心配。
- 地域で、自主防災計画をまだ立てていない。
- 避難所が国道17号を超えた先の桜木中学校・桜木小学校を指定されているが、その距離を避難できるかが不安。一方で、大成小・中学校には行ったことが無く、土地勘がないのが心配。

[地域での対策]

- 市の補助金を使い、全戸に、通電火災を防ぐ「ブレーカー自動遮断装置」を配布した。
- 約60世帯の方に協力して頂き、誰でも使う事ができる消火器を地域内に配置した。
- 普段から地域にいる人を中心に「駆けつけ隊」を結成。発災時に、自宅の安全確認後、直ちに消火器をもって駆けつける。
- JR大宮総合車両センターと日頃から交流する中で、非常時に協力して頂けるような関係性を構築している。



[今後に向けて]

- 公園などに、平時はベンチとして使える非常用トイレを整備している事例を聞いた。ぜひ、地域内にも整備して欲しい。
- 非常時の通信手段の確保に、トランシーバーは有効。最近では性能が向上し通話が途切れなくなった。



ご参加、ありがとうございました。

お問い合わせ：さいたま市東日本交流拠点整備課
メール

TEL:048-646-3280 FAX:048-646-3292
higashinohon-kyoten-seibi@city.saitama.lg.jp